



つのもちよう

議会だより

第75号

令和5年
9月定例会

主な紙面

令和4年度各会計決算を認定・・・・・・・・・・・・・・・・2P～3P

“ここに注目”行政報告・・・・・・・・・・・・・・・・4P～5P

町政を問う（2人が一般質問）・・・・・・・・・・・・・・・・8P～11P

表紙：“キラリ山ガール”（関連記事14P）

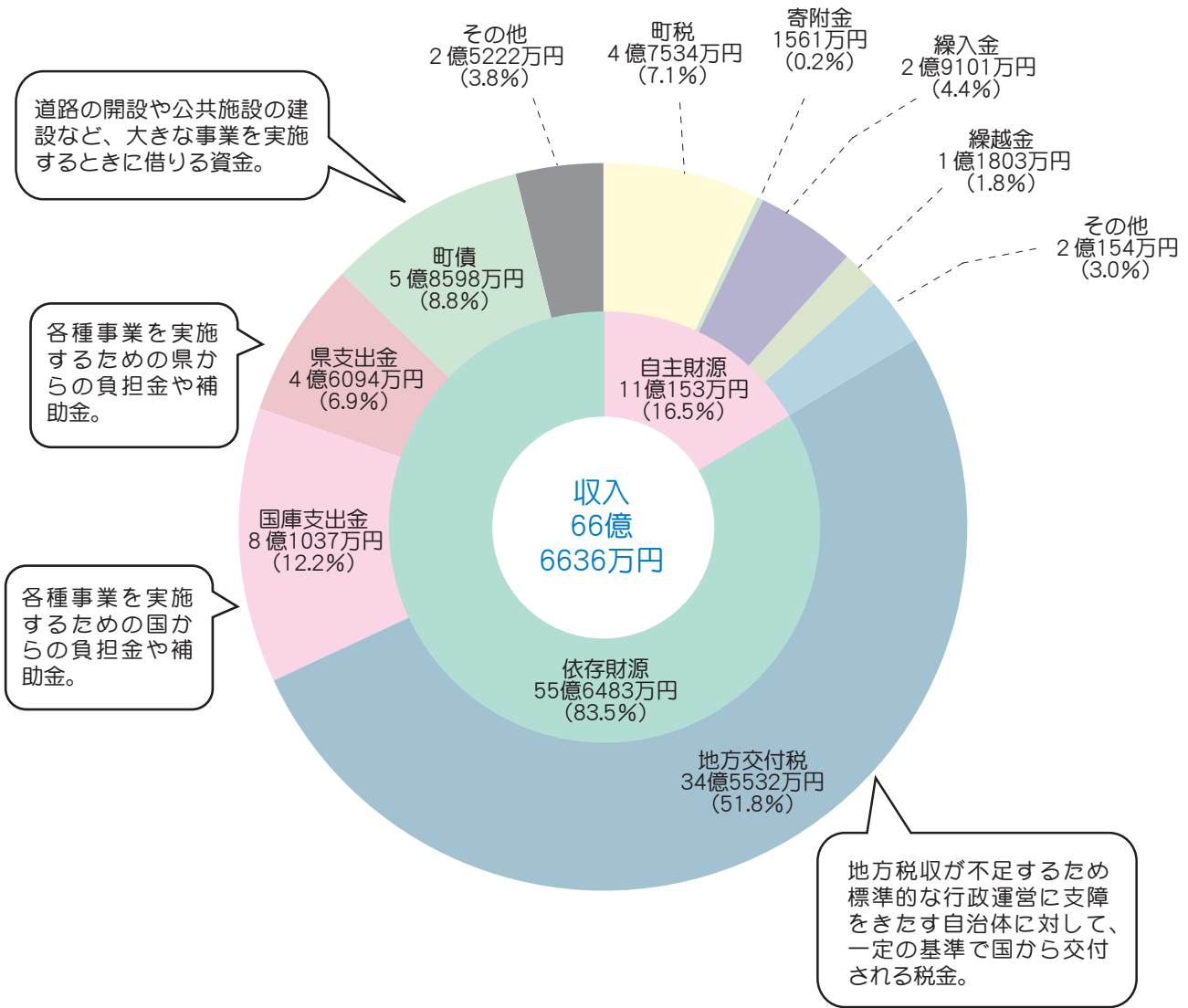
令和4年度一般会計・各特別会計決算を認定

一般会計

町債（借金）現在高61億8557万円（対前年9億1691万円減）
 基金（貯金）現在高93億8188万円（対前年9807万円増）

9月定例会は、5日から14日までの10日間開かれ、報告3件、承認1件、令和5年度補正予算をはじめ議案17件を原案のとおり承認・可決した。また、総務常任委員会に付託された令和4年度一般会計・各特別会計の歳入歳出決算は全会一致で認定された。一般質問には2人が立ち、執行部をたじた。

一般会計歳入 66億6636万円

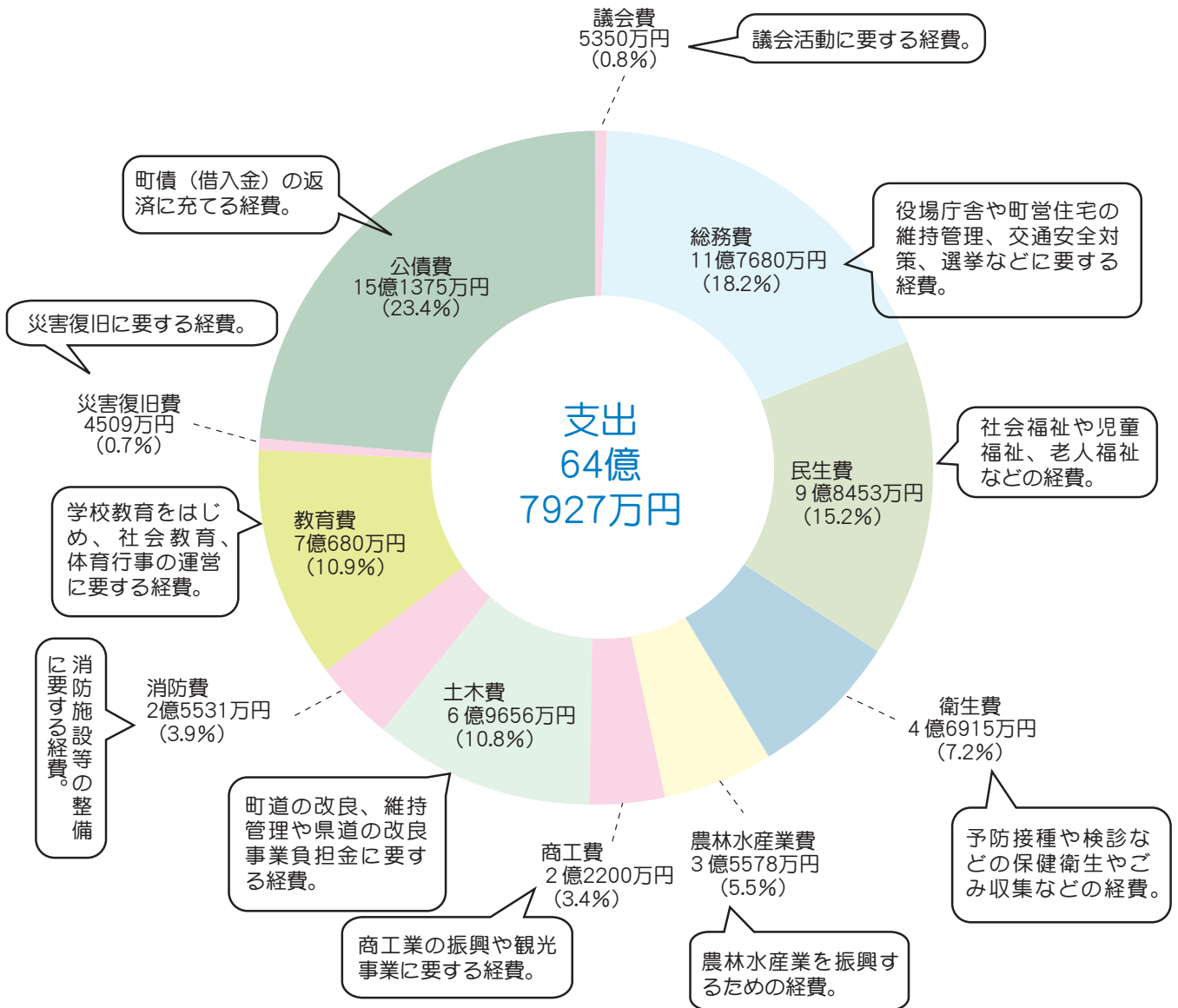


会計別の決算額

単位：万円（端数切捨て）

会計名	歳入	歳出	差引額
一般会計	66億6636万円	64億7927万円	1億8709万円
特別会計			
国民健康保険事業勘定	7億2969万円	6億9210万円	3758万円
直営診療施設勘定	1億4215万円	1億4215万円	3758万円
介護保険事業	7億2519万円	7億1245万円	1273万円
簡易水道事業	3億7890万円	3億7890万円	0万円
生活環境施設整備	8989万円	8989万円	0万円
後期高齢者医療	1億755万円	1億648万円	106万円
合計	88億3975万円	86億127万円	2億2708万円

一般会計歳出 64億7927万円



財政健全化判断

指標	健全化判断率	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	20.0%
実質公債費比率	△6.8%	25.0%
将来負担比率	負担なし	350.0%

令和4年度決算における財政健全化判断及び公営企業の経営健全化判断は、いずれも国の定めた健全化基準を大きく下回っており、赤字や資金不足は生じていない。

財政健全化判断比率
基準値を下回り「健全」

- **実質赤字比率**
普通会計の標準財政規模に対する赤字の割合
- **連結実質赤字比率**
町の全ての会計の標準財政規模に対する赤字の割合
- **実質公債費比率**
町の標準財政規模に占める借入金返済額の割合
- **将来負担比率**
町の標準財政規模に対する将来支払う負債の比率

経営健全化判断

会計名	資金不足比率	健全化基準
簡易水道事業	不足なし	20.0%
生活環境施設整備	不足なし	20.0%

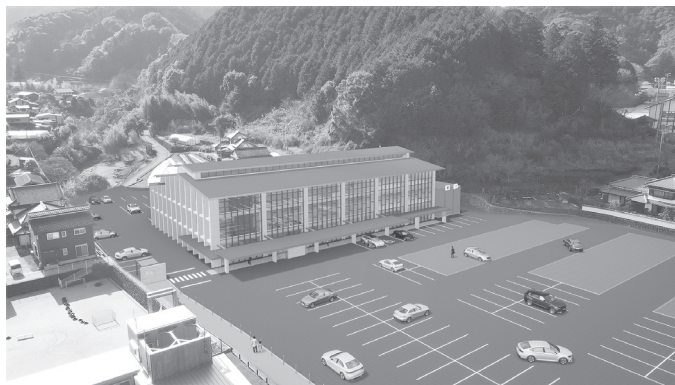
ここに注目！！

環境配慮型庁舎を建設

建物の省エネルギー化と太陽光発電の導入で、庁舎のZEB(ゼブ)化を図る
ZEB(ゼブ)化による補助金の採択により、1億6900万円獲得
14億2670万円で大旺新洋株式会社高知建築本店が受注



主な建設概要等
構造 混構造 (RC造・鉄骨造・木造)
階数 地上3階建て
令和6年12月に完成予定



[ZEB] (ゼロ・エネルギー・ビルの略称)

建物で使用するエネルギーの収支をゼロに近づける建物。

省エネ(照明、空調、自然換気等)で使用量を減らし、太陽光発電等でのエネルギー創出で収支をゼロに近づけ、建物の維持経費を大きく軽減する。

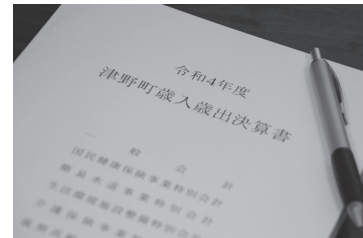


池田町長

行政報告

健全財政を維持!

令和4年度の財政健全化の状況を報告
実質公債費比率(マイナス6.8%)など各判断指数
ともに健全な財政状況



※決算の状況、用語の説明は2～3ページに掲載しています。

「宅地分譲団地造成工事」に着手



移住・定住が期待される津野町姫野々の宅地造成現場

令和6年1月末の竣工を目指す
18区画を整備予定

- 報告 第8号
- 報告 第9号
- 報告 第10号
- 承認 第12号
- 議案 第28号
- 議案 第29号
- 議案 第30号
- 議案 第31号
- 議案 第32号
- 議案 第33号
- 議案 第34号
- 議案 第35号
- 議案 第36号
- 議案 第37号
- 議案 第38号

令和4年度財政健全化判断比率の報告

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、令和4年度決算に係る財政健全化判断比率を、監査委員の意見を付けて議会に報告するもの。

令和4年度資金不足比率の報告

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定により、令和4年度公営企業会計決算に係る資金不足比率を、監査委員の意見を付けて議会に報告するもの。

専決処分の報告（町道烏出川倉川線車両損傷事故損害賠償）

町道烏出川倉川線での車両損傷事故損害賠償額の決定について、令和5年7月10日に専決処分したもの。

専決処分の承認（令和5年度津野町一般会計補正予算（第5号））

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1250万円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ68億6840万円とする。



津野町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になったことを受け、新型コロナウイルス感染症対策業務に係る防疫等作業手当の特例を廃止するための改正を行うもの。



津野町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正により、当該対策に派遣された職員に支給される手当の名称が改正されたために改正を行うもの。



津野町職員定数条例の一部を改正する条例

病気休暇や育児休暇を取得中の職員や、他の地方公共団体等で研修している職員などを、職員定数から除外するための改正を行うもの。



津野町国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例

津野町国民健康保険事業財政調整基金の積み立て額を決算剰余金の他、予算に定める額とし、財政運営の弾力化と透明性を確保するために改正を行うもの。



令和5年度津野町一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ380万円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ68億7220万円とする。



令和5年度津野町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ事業勘定2784万4千円を増額し、直営診療施設勘定36万6千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ事業勘定7億6561万9千円、直営診療施設勘定1億5271万3千円とする。



令和5年度津野町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1320万9千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7億9810万8千円とする。



令和5年度津野町生活環境施設整備特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2136万円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億2891万7千円とする。



高知県広域食肉センター事務組合の解散

令和5年4月から高知県食肉センター株式会社が主体となる新食肉センターの運営開始に伴い、高知県広域食肉センター事務組合を解散することについて、議会の議決を求めるもの。



高知県広域食肉センター事務組合の解散に伴う事務承継

高知市に承継することについて、高知県広域食肉センター事務組合同規約第14条の規程により、議会の議決を求めるもの。



津野山広域事務組合同規約の一部改正

地方自治法286条第1項の規定により、津野山広域事務組合同規約へ「決算の審査及び認定」、「組合の解散」、「解散に伴う財産処分」についての定めを追加するため地方自治法290条の規程により、議会の議決を求めるもの。



議案
第39号

可決

津野町過疎地域持続的発展計画の変更

「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」の規定により、津野町過疎地域持続的発展計画を変更するもので、事業計画の事業名に「火葬場」及び「過疎地域持続的発展特別事業」を追加することについて、議会の議決を求めるもの。

議案
第40号

可決

普通財産の貸付

風力発電施設、変電所施設及び風力発電施設を活かした地域情報等の発信施設の敷地として、株式会社葉山風力発電所に貸付するもの。

議案
第41号

可決

津野町道の路線の廃止

道路法第10条第1項の規定に基づき町道の1路線を廃止するもの。

議案
第42号

可決

津野町道の路線の認定

道路法第8条第2項の規定に基づき町道の1路線を認定するもの。

議案
第43号

可決

津野町新本庁舎建設工事請負契約の締結

契約の方法：一般競争入札
契約金額：14億2670万円
契約の相手方：大旺新洋株式会社 高知建築本店

議案
第44号

可決

令和5年度津野町簡易水道監視システム整備工事請負契約の締結

契約の方法：公募型プロポーザル方式による随意契約
契約金額：6050万円
契約の相手方：愛知時計電機株式会社 高松営業所

発議
第1号

可決

国道197号の対岸ルート計画及び県道萩中須崎線の早期改良を求める決議

国道197号、津野町新土居、西谷口付近における危険箇所を回避する路線として対岸へのルートを計画することと迂回路となる県道萩中須崎線の早期改良を求めるもの(13面に関連記事)

賛成討論(第43号) 大崎 公孝
落札業者にあつては工期内に安全でより良い品質の庁舎を建設願うと同時に、町内の雇用であつたり資材の供給等に配慮願うことなどを付帯意見とし、本議案への賛成討論とする。

賛成討論(第43号) 竹村 博仁
大型案件は追加ではなく当初提出議案とすることを求め賛成する。

令和4年度決算認定について

認定第1号～第6号の令和4年度決算は、9月6日に実施された総務・産業建設常任委員会による決算連合審査会において会計ごとに丁寧な審査を行いました。

報告
第1号

認定

令和4年度津野町一般会計歳入歳出決算の認定

歳入66億6635万8451円、歳出64億7926万8221円となった令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。

報告
第2号

認定

令和4年度津野町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

歳入8億7184万8778円、歳出8億3426万1108円となった令和4年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。

報告
第3号

認定

令和4年度津野町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

歳入歳出それぞれ3億7890万8779円となった令和4年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。

報告
第4号

認定

令和4年度津野町生活環境施設整備特別会計歳入歳出決算の認定

歳入歳出それぞれ8989万7117円となった令和4年度生活環境施設整備特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。

報告
第5号

認定

令和4年度津野町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定

歳入7億2519万3366円、歳出7億1245万4617円となった令和4年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。

報告
第6号

認定

令和4年度津野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

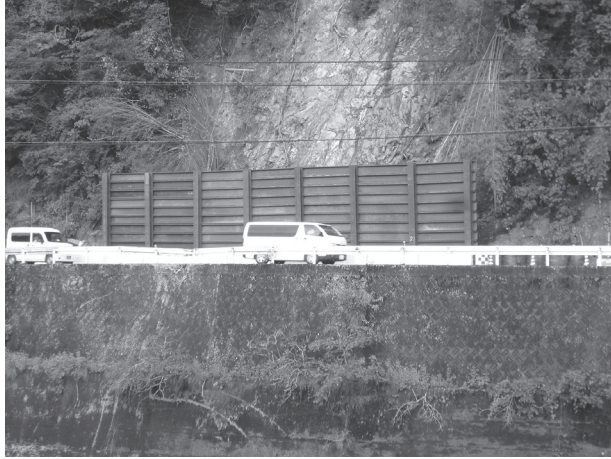
歳入1億755万297円、歳出1億648万476円となった令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めるもの。



たなか かずたか
田中 一孝

問 滝山の土砂崩れ今後の対策は

答 崩壊・防災・強靱化対策へ



滝山の土砂崩れ現場

問 災害発生後の周知は？

答 さまざまに実施

田中

8月7日深夜に滝山の土砂崩れが発生した。この場所の危険性は以前から指摘してきた。国道197号から須崎・高知市方面への通勤通学の人数は。また、今後の防災対策は。

池田町長

滝山周辺は以前から議員や多くの方から指摘があり県にも要請してきた。須崎土木が、ロックネット等の対策を行っていたにも関わらず崩壊があり、多くの方に影響を与えた。本町から須崎方面への通勤通学は500から700人。県に対して道路崩壊・防災・強靱化対策を要望していく。

一般質問

田中

今回の土砂崩れについて朝6時に防災無線で放送されたが、迂回路の情報を含め町外へはいつ・どのような方法で周知したのか南海トラフ大地震が発生した場合に備えて、土砂災害の道路行政について今後の対応を聞く。

池田町長

須崎土木はかなりの対応をしたと考えている。防災無線の活用について、その時間帯がどうであったか検討しなければならぬ。近隣市町に関しては広域防災の関連で動いているが、今回の件を投げかけたい。

吉村建設課長

災害発生が深夜であったが、町外へは須崎土木が様々な方法で周知を行った。具体的には国道197号や同439号、県道など計6カ所です。道路情報掲示板にて表示した。

県道路課は高速道路・国交省管理の国道や近隣土木事務所の道路掲示板に表示を行った。

迂回路看板表示は午前9時に国道と県道の交差点2カ所に設置した。

土砂崩れを知らずに来た方がいたとのことだが、須崎土木管内の市町には情報提供されていた。その後の対応は各市町判断となる。



片側通行している災害現場

① 問 夢トンネルと県道整備を

② 答 トンネルは町道に認定後



東倉川側の夢トンネルの入り口

田中
床鍋倉川夢トンネルは非常に暗く交通安全対策が必要ではないか。
8月の土砂崩れの際に床鍋からの県道が迂回路となり大渋滞が発生した。県道萩中須崎線の整備も県に災害対策として強く要望すべきではないか。

池田町長

このトンネルは床鍋倉川線の林道であるので、改良を見いだせない。
町道認定後に適正な管理を行い早急に実施していきたい。
県道萩中須崎線は今回の災害において、迂回路となり大きな渋滞が発生した。県に強く要望していきたい。

吉村建設課長

今議会で町道に認定されれば、早期にトンネル点検を行い、照明や内部構造を含めた長寿命化計画を立て整備計画に移ることになる。

③ 問 新莊川南岸ルートに変更を

④ 答 新たなバイパスは極めて困難



深瀬地区を通れば安全

田中
滝山地区は今後も大規模な土砂崩れが心配される。
国道197号線は災害時の緊急輸送路である。
姫野々(深瀬)・新土居間の南岸道路の建設を県や国に陳情してはどうか。

池田町長

今後の対策が県から出てくるので、その情報をもとに町の要望について検討していきたい。
2車線区間に新たなバイパスは極めて困難である。

問 国道 197 号線の改良を

答 優先度の順に進める



なかやま あきひで
中山 昭英



国道 197 号線の滝山の災害現場

中山
8月の台風で新土居滝山が土砂崩れで通行止めとなった。これまでも改良の要望を提起してきたが、放置されて今回の事態となり危険性の認識と迂回路の整備の遅れが浮き彫りになった。今回の災害を機に山崩れ対策を講じた道路改良を県に強く要望し、町民生活の安定と県内の物流の安定を図るべきでは。

池田町長
この場所は、複合カーブの入った走行に違和感のあるカーブであるが、改良の判断は県になるので強硬化も含めて県との協議の中で進めていく。
国道197号線の期成同盟会では布施ヶ坂のゆずり車線や太郎川公園付近の歩道新設の要望もあり、優先度から順次進めることになる。

中山
道路新設には、土地の無償提供が課題となっている。谷入りの土地と、家の密集地では一律にはいかない。
国の定める土地収用は、「正当な補償」を支払って取得するとなっており、補助事業では用地費もでる。今後の土地収用のあり方について、実態に応じた対応にしないと町施策の道路新設等に影響がでてくるのではないかと。

池田町長
道路用地は受益者が確保してきた経緯があり、今後も原則は今ままでどおりに進める必要がある。
公共施設の有無や旧国・県道で地区以外の利用が多いなど、姫野々地区で旧道と新国道を結ぶとなれば受益者を特定できない。
これらのことを踏まえ新しい基準を早急に作り、これからの道路行政を進めていきたい。

問 土地収用の見直しを

答 早急に新基準を



改良された町道 行き違いも楽になった

問 造成中の宅地分譲団地での支援は

答 現状の支援策の周知と、情報収集で！



宅地分譲団地予定地

中山
近年の諸物価の値上がりで、70坪の土地に家を建てると3千万円を要する。
マイホーム志向はあるが、資金には限度がある。子育て世帯には子ども一人に対して百万円の土地代を減額、町内業者の施工なら百万円補助など、経済的支援で移住・定住を助けては。

池田町長
建築には国、県の支援制度や町の取得奨励金、10年間0.3%住宅ローンの金利引き下げもある。地域経済の観点から町内の工務店が支援制度を活用して営業してほしい。
検討委員会で分譲のあり方について議論を始めるので、住宅施策の新たな情報も収集しながら進める。

問 重たい、なんとかがして!!
答 教科書のデジタル化を

中山

富山県の朝日町では、町内の小学6年生と中学生を対象に、タブレット端末だけを持って通学する取り組みを試験的に始めた。

タブレット端末は先生の働き方改革と子どもたちの将来にとって必要不可欠であり、有効活用が望ましい。通学時の荷物を減らす工夫をすべきではないか。

久寿教育長

国も登下校の重荷の解消に主要教科のデジタル教科書の導入を予定しており、朝日町は、国のモデル事業としてタブレット端末使用の検証をしている。

津野町も今年度から小学生の英語と中学生の数学でデジタル教科書の取り組みを進めており、子どもの負担にならない研究を進める。



通学する児童

西会津町デジタル戦略を学ぶ

総務・産業両常任委員会

令和5年8月2日～4日、デジタル戦略の取り組み及び震災復興の現状について調査した。

福島県西会津町のデジタル戦略の取り組みについて、企画情報課から説明を受けた。

西会津町では、令和元年度に第4次西会津町総合計画を策定し、令和3年度より西会津町デジタル戦略にも取り組んでいる。

デジタル戦略の中心的役割として、ケーブルテレビ情報通信基盤等を活用した快適で便利な暮らしづくりをはじめ、地域経済の活性化、雇用の創出、農林業の生産性・所得の向上、担い手の育成、移住促進、さらに教育・保健・医療・福祉分野などでのデジタル技術の活用による、町の将来像「笑顔つながり 夢ふくらむまちくずーっと、西会津」の実現に向けて西会津デジタル戦略を策定している。



西会津町視察研修

西会津町では、戦略推進の中心に最高デジタル責任者（CDO）を設置するとともに、企画情報課内にデジタル戦略室を組織し、本戦略の取り組みを推進している。高齢化率64.4%の町が100歳への挑戦として取り組む姿勢は津野町にとっても学ぶべき事例が多い研修であった。



原子力災害伝承館視察研修

双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館を視察した。東日本大震災と津波に伴う原子力災害（福島第一原子力発電所事故）を後世に伝えることを目的としており、未曾有の災害がもたらす現状と復興に向けた取り組みを直に感じることができ、今後発生が予測される災害等において被害を最小限に抑えるための取り組みが重要であることを改めて感じた。

日本一の議会だよりに学ぶ

議会だより発行調査特別委員会

令和5年8月29日、令和5年度町議会広報クリニックを受講した。翌30日、議会だより先進地の取り組みについて調査をした。

議会広報クリニックを受講し、読みやすい紙面づくりのために、見出し、リード文、色使いの見直しなど様々な意見をいただいた。

埼玉県寄居町議会広報広聴特別委員会は、「読まれない議会だよりに出す意味無し！」を編集方針とし、町民参加、写真を多く使い関心の高い記事を優先して町民目線で議会だよりを制作していた。

引き続き、委員会で協議しながら多くの住民に読んでもらえる紙面づくりを目指し取り組んでいく。



議会広報クリニック受講



寄居町議会視察研修



答えは
今月号の中
にあるよ

下記の問題の○に入る言葉のうち①～⑤を繋いで言葉を完成させてね。

- 令和4年度決算は実質公債費比率(○○○①6.8%)など各判断指数ともに健全な財政状況。
- ゼブとは、ゼロ・②○○○○・ビルの略。
- ③○○○197号線は災害時の緊急輸送路である。
- 津野町簡易水道監視システム整備工事請負契約は、公募型○○○○④○方式による随意契約。
- 県道○○○○○⑤○線は8月の滝山土砂崩れで迂回路となった。

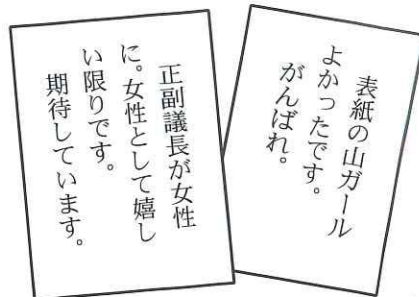
官製はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、クイズの答え(5文字)、感想など一言をご記入のうえ、11月末までに議会事務局までご応募下さい。正解者の中から抽選で5名にプレゼントをお送りいたします。なお、当選者は次号にて発表いたします。どしどしご応募下さい。

残念ながら今回当選されなかった方も、またチャレンジしてね!

前回の答えは「ぼんやすみ」でした。厳正な抽選の結果、右記の5人が当選されました。おめでとうございます。

当選者

姫野々	楠瀬 真知子	様
北 川	明神 美穂	様
永 野	下元 真穂	様
烏出川	中山 恵津子	様
永 野	田中 由菜	様



お寄せいただいた感想
ご意見の一部紹介

表紙の山ガール
よかったです。
がんばれ。

正副議長が女性
に。女性として嬉し
い限りです。
期待しています。

国道197号の対岸ルート計画及び県道萩中
須崎線の早期改良を求める決議

津野町を東西に貫く国道197号は、高知市方面から愛媛県及び九州地方への最短ルートで一般車両の通行をはじめ、大型車両の物流経路として地域経済の発展と観光振興を支える重要な幹線道路である。さらに、沿線の住民にとっては通勤通学等、生活に欠かせない、まさに「命の道」となっている。

しかしながら、令和5年8月7日深夜に津野町新土居西谷口付近において、降雨により道路法面の崩壊が発生し、国道197号は約20時間にわたり全面通行止めとなった。この災害による全面通行止めでも多くの道路利用者は大幅な迂回を余儀なくされ、日常生活に大きな影響を及ぼす結果となった。

今回の災害発生場所を含めた周辺の国道の山側は、地元からは滝山と呼ばれるほど急峻で本議会でも当区間の危険性を再三指摘してきた場所である。今後、発生が予想される南海トラフ大地震においても、国道197号は津

波被害が予想される沿岸部への緊急物資や人員の輸送に大きな役割を果たすと考えられることから、普段の道路利用者の安全の確保はもとより、防災の観点からも当区間の道路整備は最重要課題である。

あわせて、迂回路となった県道萩中須崎線についても未改良区間が多く、道路は狭隘で落石等の危険箇所があるものの有事の際には国道197号を補完する路線として役割も考えられることから早急な対策が必要である。これらのことを踏まえ、次の項目について強く要望する。

1. 国道197号、津野町新土居西谷口付近においては、危険箇所を避けた新たな路線として対岸へのルートを計画すること。
2. 県道萩中須崎線については、予算の安定的かつ増額に努め早急な改良工事を進めること。

以上、決議する。

キラリ山ガール（表紙の紹介）

今回は自伐型林家で活躍する大崎笑美さん（おおきえみ）（床鍋）を紹介します。
大崎さんは、5人のお子さんを育てるパワフルママです。

まだまだ分からないことがあるので、日々勉強です。
旦那のフォローを頑張りたいです。



家族で集まる（団らん）
時間が好きです。
↑約5年前の写真。
みんなで遊びに行きました。

鳥や虫の音が聴こえる
自然の中での仕事は気
持ちが良いです。



編集後記

産業革命以降、地球の温室ガスが急増。それにもない地球温暖化が進行。「そんな難しいことを言われてもわからんけど、地球がおかしゅうなってることわかってあよ」と聞く。今年の夏は随分と雨が多かったです。各地で線状降水帯が発生して被害が・・・。

台風も年々大型化。北極の氷もどんどん解けて東南アジアの低地は次々と浸水している。気象庁は、被害が出るたびに想定外、想定外で済ませているのが現状。津野町も被害が出てからでは遅いから先ずは備えを。皆さんご承知のとおり、大丈夫と言われた滝山があの結果である。危機管理はあまりにも広範囲のため、限られた予算でする事には限度がある。まずは人の命を守ることを最優先して、安心して暮らせる津野町をつくりたい。

（文責 大崎芳章）

津野町議会だより
発行調査特別委員会

委員長 大地 真人
副委員長 竹村 博仁
委員 大崎 芳章
委員 中山 昭英
委員 高橋 眞一郎
委員 川上 智子

※分かりやすい紙面にと
心がけています。読後
のご感想、ご意見をお
寄せ下さい。
〒785-1020
津野町永野四七一
津野町役場議会事務局